

鳥羽市地域公共交通会議会議録

会議の名称	令和元年度第1回鳥羽市地域公共交通会議定期航路幹事会
開催日時	令和元年6月24日(月) 13:00~13:30
開催場所	鳥羽マリンターミナル会議室
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. あいさつ 2. 自己紹介 3. 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成30年度鳥羽市地域公共交通会議決算について【資料1】 (2) 令和元年度鳥羽市地域公共交通会議予算(案)について【資料2】 (3) 生活交通確保維持改善計画(案)について【資料3】 4. 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 平成30年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について【資料4】 (2) 定期航路旅客荷物輸送実績について【資料5】 (3) 鳥羽市定期航路運航条例の一部改正について【資料6】 5. その他
会議資料	事項書・席次表・委員名簿 【資料1】 平成30年度鳥羽市地域公共交通会議決算 【資料2】 令和元年度鳥羽市地域公共交通会議予算(案) 【資料3】 生活交通確保維持改善計画(案) 【資料4】 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果 【資料5】 定期航路旅客荷物輸送実績 【資料6】 鳥羽市定期航路事業旅客運賃及び荷物運賃現行及び改定額一覧
公開・非公開の別	公
傍聴人の数	1人(中部運輸局1名)
出席委員	立花会長、中根委員、下田委員代理 大津氏、清水委員代理 岩佐氏、木下委員、西川委員、濱口委員、池田委員、小久保委員、小寺委員、矢田委員
オブザーバー	なし
欠席委員	山下委員
事務局	定期船課 世古、野呂、寺本
<p>1. あいさつ</p> <p>○世古事務局長</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・配布資料の確認 <p>○立花会長挨拶</p> <p>本日の会議は、中部運輸局に提出する令和2年度認定申請を中心にご討議いただきたい。報告事項についても実績報告や事業評価結果に加え、本年10月1日に予定されている消費税の値上げに伴う乗船料の改定について、現時点での経過を報告させていただくので、ご協力をお願いします。</p> <p>2. 定期航路幹事会委員自己紹介</p> <p>出欠報告と出席者全員による自己紹介を行った。</p> <p>3. 協議事項</p> <p>(1) 平成30年度鳥羽市地域公共交通会議決算について</p> <p>○寺本事務局員</p> <p>資料1について説明。懇談会の開催、企画切符作成などの支出に対し、国と市から補助を受けた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・監事 中根委員より監査報告があり、出納は適正であると認められた。 	

(2) 令和元年度鳥羽市地域公共交通会議予算(案)について

○寺本事務局員

資料2について説明。懇談会の開催、パンフレットスタンド購入などの支出に対し、市から補助を受ける予定であるが、今年度は国からの補助がないため、事業費は減額となった。

(3) 生活交通確保維持改善計画(案)について

○寺本事務局員

資料3について説明。定期船の利用者数がついに70万人を下回ったが、利用者数の減少率が離島人口の減少率と同水準もしくはそれ以下となるよう、離島の方々と連携し、観光客の誘客などに取り組んでいく。また、今年度は経営戦略を策定し、運営の改善にも努めていく。現在、地域公共交通網形成計画に定める目標を達成するための事業として取り組んでいる、「公共交通を利用した高校生発想の旅行企画」のバスプランが完成したら、次は離島プランを作成する予定なので、また委員の皆様にもご意見やご協力をお願いしたい。

○濱口委員

高校生のバスプランが完成したら、離島プランに取りかかるとのことだが、出来上がりはいつ頃の予定ですか。

○寺本事務局員

バスは相差プランを予定しており、7月頃から高校生達がフィールドワークに出ると聞いている。まず、こちらが完成してからになるので、離島プランにいつ着手できるかは現段階では未定。学校のテスト期間などとの兼ね合いもあるが、なるべく早い時期に取りかかりたい。

○濱口委員

どちらの高校生が作るのですか。

○寺本事務局員

鳥羽高校の「とばっこくらぶ」の生徒さんが取り組んでくれています。

○立花会長

それでは、生活交通確保維持改善計画を提出させていただくことを、ご承認いただける方は挙手をお願いします。(全員の挙手あり)

4. 報告事項

(1) 平成30年度地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について

○野呂事務局員

資料4について説明。昨年度は7~10番乗り場の案内表示板の多言語化を行ったことが、評価された。今後はそれ以外の部分でも、外国人誘客に取り組んでいくことを期待するというコメントをいただいた。

○岩佐氏

事業評価では、利用者数が68万9千人となっているが、生活交通確保維持改善計画では68万5千人となっている。この差はなんですか。

○野呂事務局員

事業評価の実績は10月~翌年9月であるのに対し、市の実績は4月~翌年3月を対象とするので、差異が出ることになる。

○大津氏

今年、鳥羽市観光課の方で多言語の観光アプリを作成することになっていると思う。ターミナルはWi-Fiに対応しているので、この二次評価に書かれているWi-Fiの導入を期待するというのは、定期船の中のことなのか、島に渡ってからの待合所などのことなのか、どこでこの観光アプリを使うイメージを持っていますか。

○野呂事務局員

船舶の方はこちらで検討の余地があると思うが、待合所の方は観光課と協議が必要であると思う。

(2) 定期航路旅客荷物輸送実績について

○野呂事務局員

資料5について説明。一番好調だったのが、冬場の桃取航路での団体乗船料であった。学生定期などが例年減少傾向にあり、29年度に70万人あった利用者数が68万5千人まで落ち込むという結果になった。荷物の方もわずかに減少傾向にある。

(3) 鳥羽市定期航路運航条例の一部改正について

○世古事務局長

資料6について説明。本年10月1日に消費税率が8%から10%に引き上げられる予定であることに伴い、市長から鳥羽市定期航路事業運営審議会に対し、運賃改定に関する諮問があった。5月24日に開催した審議会で審議した結果、定期船課が示した改定案が承認されたため、市長に答申をさせていただいた。現在6月議会が開会中であり、6月19日の文教産業常任委員会で条例改定案が審議され、承認をいただいたので、6月26日の本会議で可決されれば、10月1日より新しい運賃での運用を実施していく予定である。それまでに8月1日号の広報とばなどで定期船を利用する方々に周知を行っていく。

5. その他

○小寺委員

定期船の座席が、つぎはぎのような形で補修されている。新しく張り替えるなどの予定はないのですか。座るのに躊躇するような座席も、中にはある。

○矢田委員

きらめき、かがやきのことだと思うが、建造から10年、11年と経過し、生地自体が劣化してきている。昨年度の予算要求時にも、全て替えたいという要求はしたが、270万ぐらい経費がかかるため、市の財政が厳しい中、現状では応急措置という形で対処している。できるだけきれいな座席にしていきたいので、また要求をしたいと思う。

○小寺委員

船内に企業のポスターを貼っていますよね。座席についてもスポンサーを募集して、背もたれのところに出資してくれた会社名を入れるなどの試みをやってみるというのはどうか。

○矢田委員

瀬戸内などは小寺委員が言われたように、シートに協賛企業名を入れるということをやっているが、鳥羽市の場合は、ポスターは各企業に掲示をお願いして、年間料金をいただいているものの、座席部分については、まだそこまで踏み込めていないのが現状です。

6. 閉会

○立花会長

令和元年度第1回鳥羽市地域公共交通会議定期航路幹事会の議事については全て終了しました。今後開催させていただく定期航路幹事会について、再度出席をお願いし会議を終了させていただきます。